

●データ作成の注意事項

1. データ形式について

データの入稿は完全データをお願いします。完全データとは弊社での編集作業が必要でないPDF、画像データ、イラストデータ(アウトライン処理)などを指します。弊社での編集作業が必要な場合は別途費用が発生します。ご了承ください。

※弊社ではPDFでの入稿を推奨しています。入稿につきましては、下記の注意事項をお読みください。

○フォントは全て埋め込み(エンベット)でPDFを作成してください。

フォントの埋め込みが許可されているのは、フォントメーカーにより埋め込みが許可されているフォントのみです。埋め込みが許可されていないフォントは、すべてアウトライン化してください。

2. CMYKとRGBについて

○色の表現方法にはRGB(光の三原色)とCMYK(色の三原色)があり、モニターはRGBで、印刷はCMYKです。RGBの方がCMYKより色再現域が広いので、モニター上ではCMYKの色を再現できますが、印刷ではRGBの色を再現できない部分があります。彩度の高い鮮やかな色(特に空や海などの鮮やかなブルー)や蛍光色のような色は彩度が落ちた濁った色になります。

通常はフォトショップなどの画像修正ソフトでCMYKに変換後、トーンカーブ等で色調補正を行っていますが、全てにおいて補正が必要なわけではありません。変化の大きなものと小さなものがありますので下の画像を参考にしてください。

・変換すると変わる画像



・変換しても変わらない画像



(色の変化は擬似的に表しています。)

3. 画像解像度について

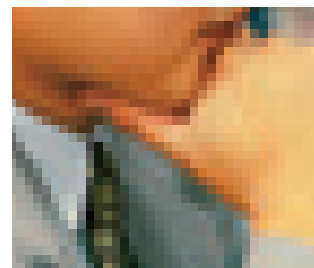
○解像度の低い画像データは、印刷時に画像が粗くなります。

○解像度72dpiは、モニタープレビューにおける標準解像度であり、モニター上では画像が綺麗(図1)に見えますが、印刷の際は粗くなった状態(図2)になります。

○もともと解像度の低いデータを、修正して高解像度にする事は出来ません。



(図1)



(図2)

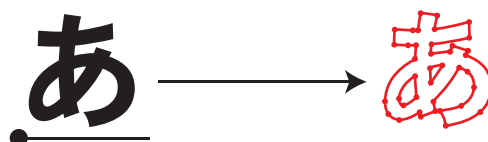
※画像はイメージです。

4. 文字・書体について

○PDFで文字の埋め込みが出来ない書体は必ずアウトライン処理(図1)して入稿してください。

○アウトライン処理されていないデータを弊社で開いた際、書体が変わることがあります。

○極端に小さい文字や、白抜き文字はキレイに印刷されないことがあります。

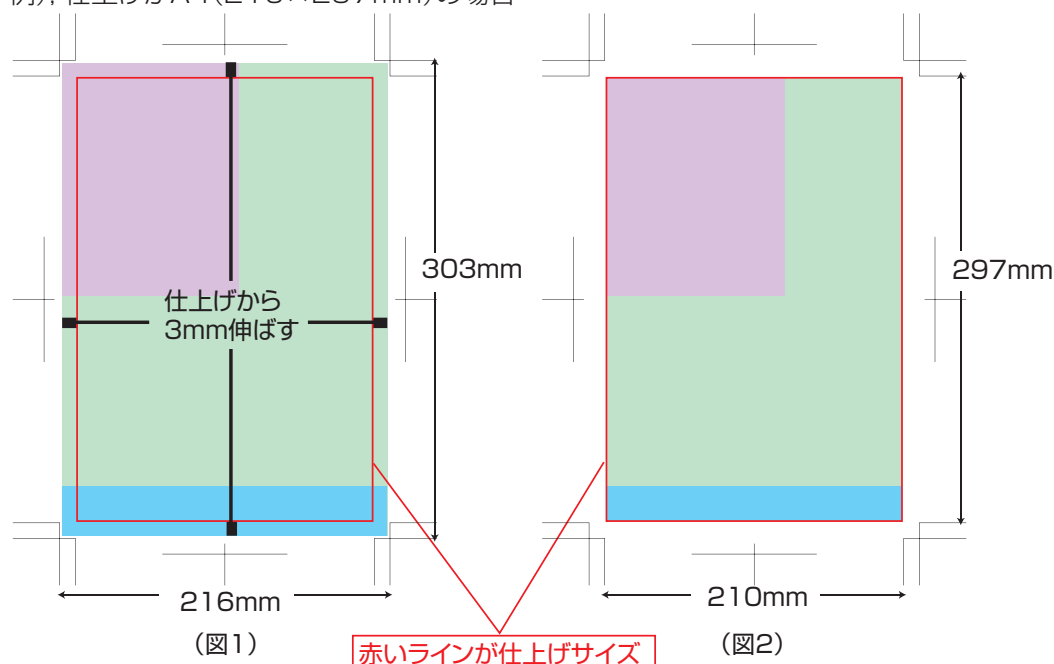


(図1)

5. 塗り足しについて

- トンボはC100 M100 Y100 K100で作成してください。
- 写真や地色等が仕上げにかかるときは、仕上げサイズの外に上下左右3mm伸ばす(図1)必要があります。
データが仕上げサイズまで(図2)だと、断裁の際に印刷する用紙の色(白地)がでます。
- 仕上げサイズの仕様については工務、営業にお問い合わせ下さい。

例) 仕上げがA4(210×297mm)の場合



6. 罫線について

- 平網ベタや写真の上に細い白ヌキ罫を使用すると、線がつぶれることがあります。
- 罫線がモニタ上で見えていても細かい設定の罫線は、印刷できない場合があります。
- 例えば罫線の線幅が1pt(図1)だったら印刷されますが、それ自体に縮小をかけたり、他のソフトに貼り込む時に縮小したりした場合は、線の太さが細くなりつぶれることがあります。(図2)。



- ソフトにもよりますが「極細」「ヘアライン」と書かれている設定は印刷すると線がつぶれることがあります。

7. ファイル名について

- ファイル名、フォルダ名は半角31文字以上は付けしないでください。全角文字は使用しないでください。
- ファイル名、フォルダ名として使用できない文字 ¥、/、:、;、*、?、"、<、>、|、.、_ (スペース) その他の記号も基本的には使用しないでください。

・ページ物の場合

(良い例)

hyoushi.pdf

半角英数はOK 拡張子

nakami0102.pdf

半角英数で記号も使っていない

(悪い例)

表紙.pdf

全角はNG

中身01~02.pdf

記号もNG

・端物類の場合

(良い例)

menuA.pdf

商品名などを半角英数にする

menuB.pdf

表をA、裏をBなど半角英数にする

(悪い例)

メニュー/表.pdf

全角、記号を使うのはNG

メニュー/裏.pdf

全角、記号を使うのはNG

データ作成について不明な点がございましたら、弊社デザインセンターまでお問い合わせください。

TEL : 093-381-0114 FAX : 093-381-1942